



# あいちモリコロ基金 フォーラム

認定NPO法人レスキューストックヤード  
代表理事 栗田暢之

# 自己紹介

年	経緯
1964年	岐阜県穂積町（現瑞穂市）生まれ
1976年	安八水害で被災を経験
1987年	学校法人同朋学園職員～2001年8月退職
1995年	阪神・淡路大震災（学生ら延べ1500人と2ヶ月間現地で支援活動）
1996年	震災から学ぶボランティアネットの会設立
1997年	震災がつなぐ全国ネットワーク設立
2000年	東海豪雨水害（あいち・名古屋水害ボランティア本部長）
2002年	NPO法人レスキューストックヤード専従職員～現在に至る
2011年	東日本大震災
2011年	東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）設立
2011年	愛知県被災者支援センター長
2012年	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）準備会設置

# モリコロ基金の感想

- NPOにとって資金繰りは生命線。特に人材の発掘・育成は鍵。この意味で人件費が担保されたことは大きい。
- 毎年期待できたので、採否はともかく、自分たちがしたいことに毎年チャレンジできた。
- 市民セクター全体のボトムアップにつながった。ただし、多種多様なNPOをつなぐ横軸機能が不足した。

# 今後のあり方

- **モリコロ基金に変わる新たな資金循環のしくみづくりが必要。**
- **行政依存ではなく、企業・生協等を含む民間が市民を巻き込んで、市民セクターを支えることが理想。**
- **特に東日本大震災や関東・東北豪雨など相次ぐ災害と南海トラフ巨大地震など今後懸念される災害への対応は、社会からの要請が大きい。**